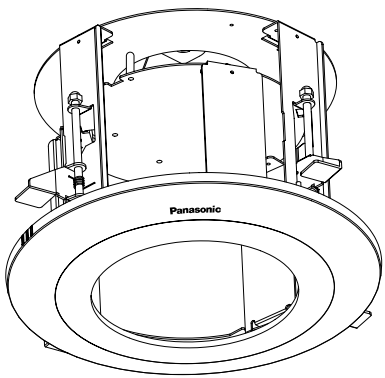
Panasonic

取扱説明書

工事説明付き

カメラ天井埋込金具

品番 WV-Q126



もくじ

はじめに

商品概要 ……2
付属品をご確認ください ……2
安全上のご注意 ……3
設置上のお願い ……6
各部の名前 ……7

設置

取り付けかた ……8

その他

仕様 ……裏表紙

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

・ご使用前に「安全上のご注意」（3～5ページ）を必ずお読みください。

・この取扱説明書は大切に保存してください。

はじめに

商品概要

本金具は、カメラ用のカメラ天井埋込金具です。対応機種は、カタログまたはカメラの取扱説明書をお読みください。
二重天井の石こうボードなどのねじ引き抜き強度が弱い場所に使用できます。
また、カメラ本体の露出部を小さく見せるため、埋込型になっています。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）……1冊

以下の付属品は取付工事に使用します。
落下防止ワイヤー……1本
落下防止ワイヤーアングル……1個
型紙A……1枚
型紙B……1枚
飾りカバー……1個
ねじ（M4）…… 5本（うち1本は予備）

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない

取付部が劣化して、落下などの事故の原因となります。

⚠警告

専用のカメラ以外は取り付けない

落下などで、けがや事故の原因となります。

- 対応機種は、カタログまたはカメラの取扱説明書をお読みください。

ねじや固定機構はしっかりと締め付ける

締め付けが緩むと、落下などでけがの原因となります。

落下防止対策を施す

落下によるけがの原因となります。

- 落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。

総質量に耐える場所に取り付ける

取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などでけがの原因となります。

- 十分な強度に補強してから取り付けてください。

定期的に点検する

金具やねじがさびると、落下などでけがの原因となります。

- 点検は販売店にご連絡ください。

⚠注意

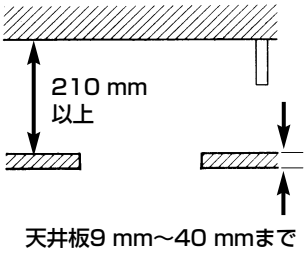
金属のエッジで手をこすらない

禁止

強くこすると、けがの原因となります。

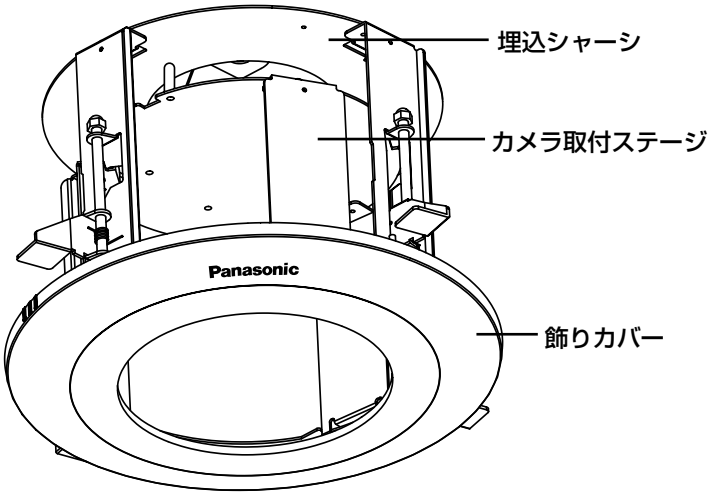
設置上のお願い

- 設置場所はお買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な天井面をよく選んで、設置してください。また、カメラ取り付け時の総質量（約2.8 kg）に十分耐えられる強度を持っていることを確認してから取り付けてください。
- 天井裏が210 mm以上ある場所に設置してください。
- 天井板の厚さは、9 mm～40 mmまで取り付けが可能です。

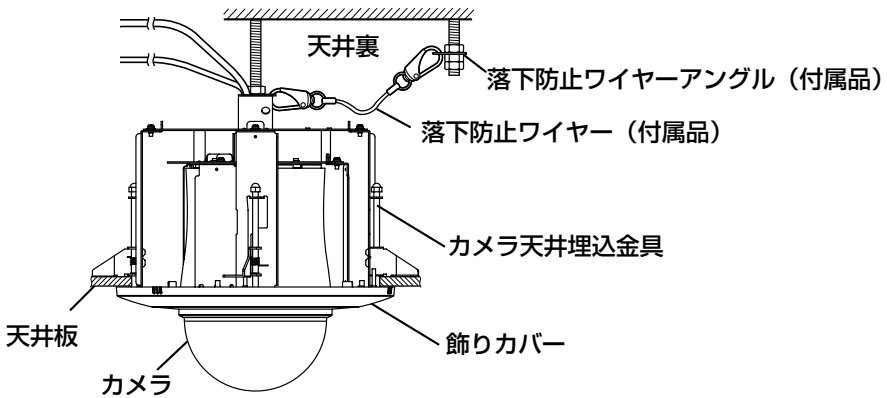


- 以下のような場所での設置および使用はできません。
  - ・雨や水が直接かかる場所（軒下なども含む）
  - ・プールなど、薬剤を使用する場所
  - ・ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所、および可燃性雰囲気中などの特殊環境の場所
  - ・放射線やX線および強力な電波や磁気の発生する場所
  - ・海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
  - ・使用周囲温度（－10 ℃～＋50 ℃）を超える場所
  - ・車両や船舶などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）
  - ・エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所（ドームカバーが曇ったり、結露したりする場合があります）
- ねじやボルトは取り付け場所の材質や構造物に合わせてしっかりと締め付けてください。ねじやボルトを締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

各部の名前


埋込シャーシ
カメラ取付ステージ
Panasonic
飾りカバー

＜設置例＞

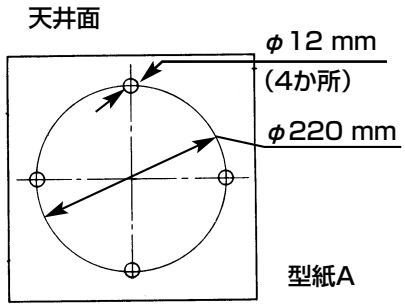

天井裏
落下防止ワイヤーアングル（付属品）
落下防止ワイヤー（付属品）
カメラ天井埋込金具
天井板
飾りカバー
カメラ

取り付けかた

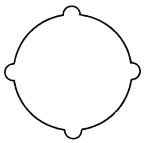
取り付ける前に、「安全上のご注意」（☞3ページ）、「設置上のお願い」（☞6ページ）を必ずお読みください。また、カメラの「取扱説明書　基本編」もあわせてお読みください。

1 型紙A（付属品）を天井にあて、穴をあけます。

①φ12 mmの穴を4か所あけます。
②型紙中央部を取り除きます。
③φ220 mmの穴をあけます。



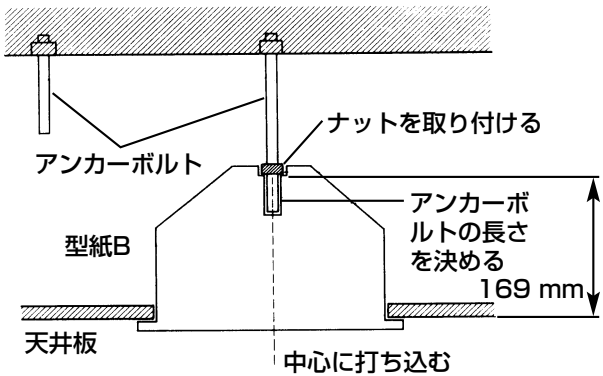
※1 穴は以下のようになります。



※2［ブランドロゴ方向を気にされる方へ］
手順14で取り付ける飾りカバーのブランドロゴ方向はφ12 mmの穴位置で決まるため、①の作業の段階で限定されます。
希望のブラントロゴ方向と、型紙Aに記載してある「ブランドロゴ方向」が一致するように①の作業を行ってください。さらにこのあとの手順6でもご注意ください。

2 コンクリート天井にアンカーボルト（推奨：M10）2本を打ち込みます。

①型紙B（付属品）でアンカーボルトの長さを決めます。
②型紙B（付属品）でナットの位置を決めます（天井下面から169 mmの位置にナットの下面がくるようにします）。

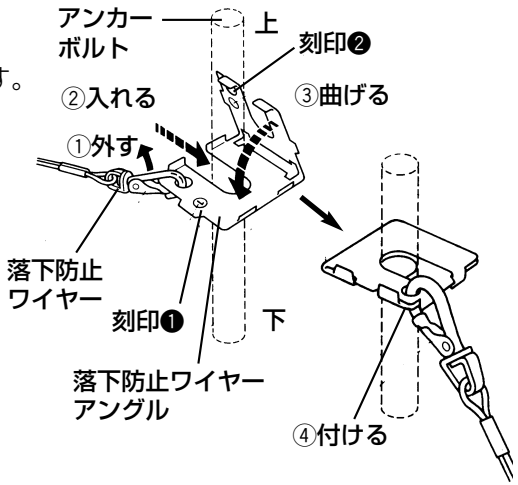


✎メモ✎

- すでにアンカーボルトが打ち込まれている場合、2本目のアンカーボルトとして使用できます。アンカーボルトの位置が、1本目のアンカーボルトから1 000 mm以内の距離にあることを確認して使用してください。

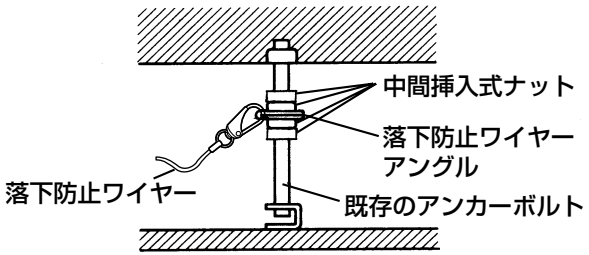
3 2本目に打ち込んだアンカーボルトに落下防止ワイヤーアングル（付属品）を取り付けて、落下防止ワイヤー（付属品）を取り付けます。

①落下防止ワイヤーを落下防止ワイヤーアングルから外します。
②刻印❶の面にアンカーボルトを入れます。
③刻印❷の面を折り曲げます。
④落下防止ワイヤーを落下防止ワイヤーアングルに取り付けます。



✎メモ✎

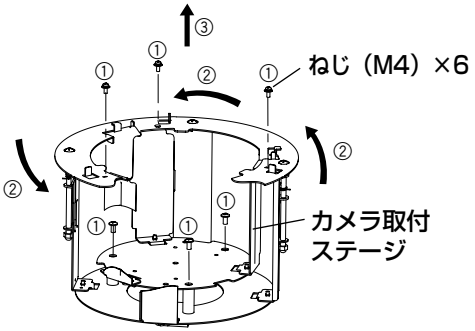
- すでに打ち込まれているアンカーボルトを使用する場合は、中間挿入式ナット（推奨：SN-W3/8ネグロス電工株式会社製）を2個使用すると便利です。



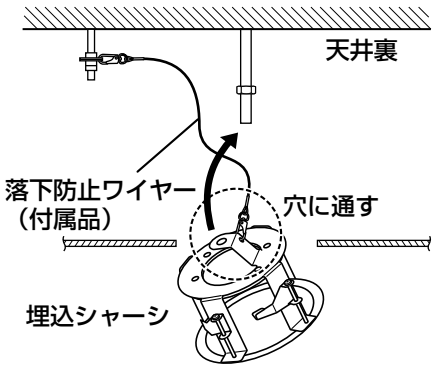
取り付けかた（つづき）

4 カメラ取付ステージを取り外します。

①ねじ（M4、6か所）を外します。
②反時計回りにカメラ取付ステージを回します。
③カメラ取付ステージを上に持ち上げ取り外します。

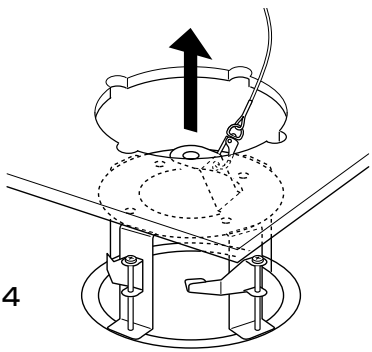


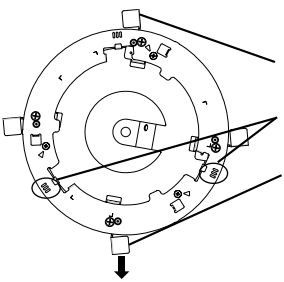
5 もう一方の落下防止ワイヤーの先に埋込シャーシを取り付けます。



6 埋込シャーシを手順1であけた穴に通して、天井裏に入れます。

※［ブランドロゴ方向を気にされる方へ］
手順14で取り付ける飾りカバーのブランドロゴ方向は、埋込シャーシ挿入時の向きで決まります。（下図参照）

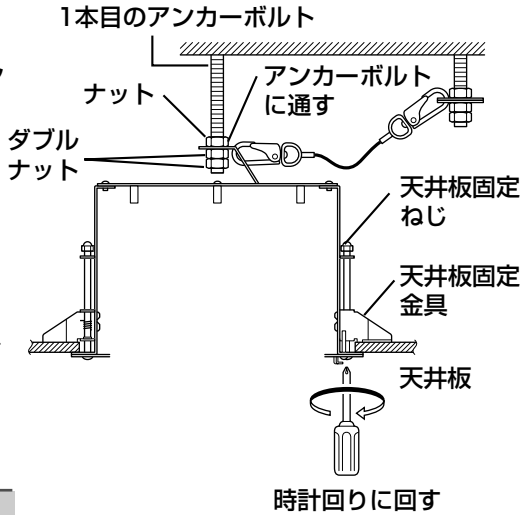




7 天井板固定ねじ（4か所）で埋込シャーシを天井に固定します。

①埋込シャーシの上部を1本目のアンカーボルトに通します。

②天井板固定ねじを時計回りに回し、埋込シャーシを固定します。天井板固定ねじを回すと、天井板固定金具が天井板を挟み込み、固定できます。
（推奨締付トルク：0.78 N・m {8.0 kgf・cm}）



!! 重要 !!

- 埋込シャーシを天井に固定する際、4つの天井板固定金具が図のように開いた状態になっていることを確認してください。

③ダブルナットで埋込シャーシの上部を固定します。

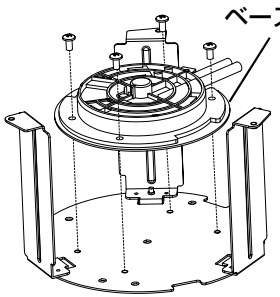
8 ケーブルを準備します。

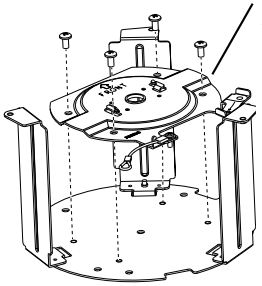
埋込シャーシの隙間からケーブルを引き出してください。

取り付けかた（つづき）

9 カメラ取付ステージにベースユニットまたはカメラ取付金具を取り付けます。

ねじ（M4、付属品）で 4 か所固定します。
（推奨締付トルク：1.57 N・m
{16 kgf・cm}）





※取り付け向きにご注意ください。

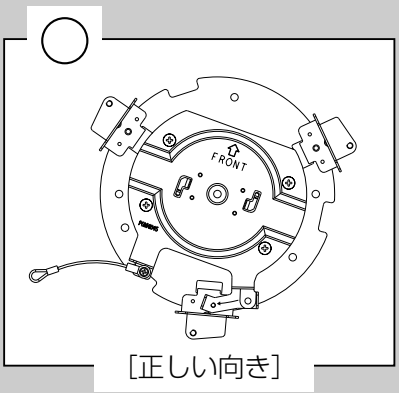
✎**メモ**✎

- どちらを取り付けるかは、カメラの種類によって異なります。ベースユニットはカメラ本体部品、カメラ取付金具はカメラ付属品です。
- 以降の説明では、ベースユニットを取り付けた図を用いています。

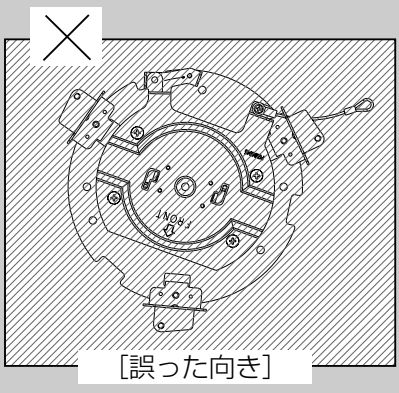
設置

!! **重要** *!!*

- カメラ取付金具を取り付ける場合、取り付け向きにご注意ください。誤った向きに取り付けようとすると、カメラ取付ステージと干渉する部分 があります。無理に取り付けますと、故障、落下の原因となりますのでお やめください。



［正しい向き］



［誤った向き］

10 カメラ取付ステージを埋込シャーシに取り付けます。

①カメラ取付ステージの突起部（3か所）を埋込シャーシのカメラ取付ステージ突起部挿入口（3か所）に挿入します。埋込シャーシに当たるまで押し上げます。

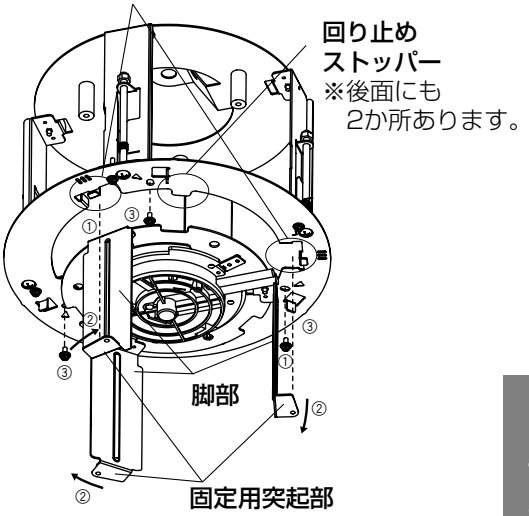
②埋込シャーシに押しつけた状態で、埋込シャーシの回り止めストッパーに当たるまで時計回りに回転させます。

※回りづらい場合は、固定用突起部や脚部を持って回してください。

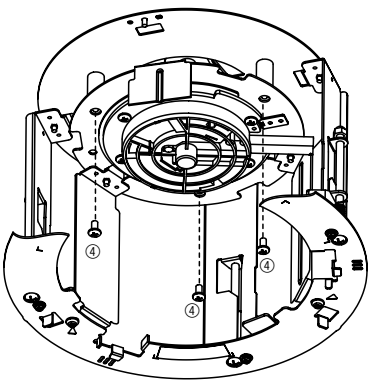
③手順 4 で外したねじ3本で固定します。※＜図A＞参照
（推奨締付トルク：1.57 N・m {16 kgf・cm}）

④手順 4 で外したねじ3本で固定します。 ※＜図B＞参照
（推奨締付トルク：1.57 N・m {16 kgf・cm}）

!! 重要 !!
- 取り付け時、ケーブルをはさまないように注意してください。



<図A>



<図B>

取り付けかた（つづき）

11 ベースユニットまたはカメラにケーブル類を接続します。

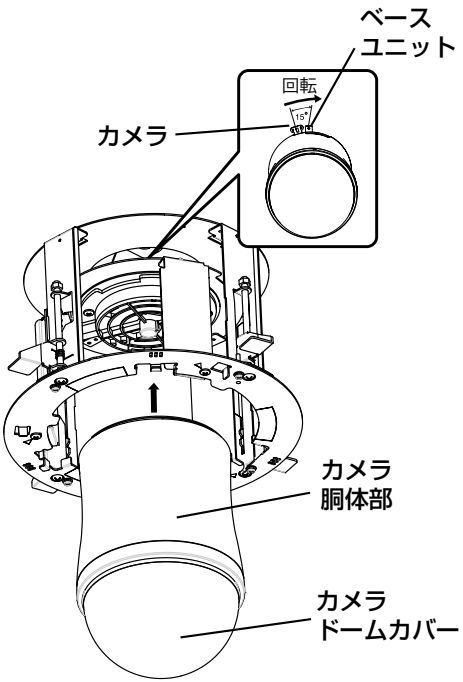
接続方法はカメラの取扱説明書を参照してください。

12 カメラを取り付けます。

①手順9で取り付けたベースユニットまたはカメラ取付金具上にカメラを取り付けます。

②カメラ固定ねじ（カメラに付属）1本でカメラを固定します。（推奨締付トルク：0.68 N・m {7.0 kgf・cm}）

※カメラ取り付け方法詳細はカメラの取扱説明書を参照してください。



!! 重要 !!

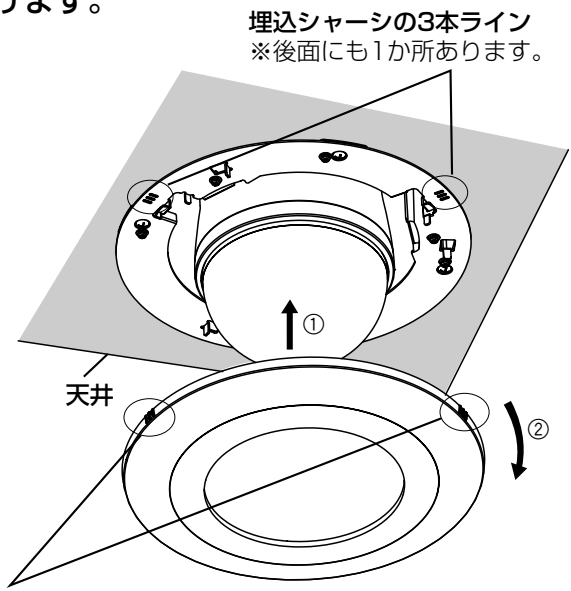
- 必ずカメラ胴体部を持って取り付けてください。カメラドームカバーを持ちながら取り付けると、故障の原因となります。

13 カメラのドームカバーに付いている保護シートをはがしてください。

14 飾りカバーを取り付けます。

①飾りカバー側面の3本ラインを埋込シャーシの3本ラインに合わせて取り付けます。

②カバーを上に強く押しつけながら時計回りに回し、ロックします。



仕様

使用温度範囲	−10 ℃～+50 ℃	
寸法	φ245 mm　高さ188.8 mm　(飾りカバー含む)	
質量	約 1.2 kg	
仕上げ	本体	：表面処理鋼板
	飾りカバー	：ABS樹脂　シルバーメタリック塗装

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電 話 フリーダイヤル **0120-878-410**（バナハ　ヨイワ）
携帯・PHS OK
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531　福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2013

PGQX1048ZB
sC0911-1033
Printed in China